

第5回 「原子力に係る安全性・信頼性向上委員会」議事概要

1. 開催日 2021年6月3日(木)
2. 開催方法 書面開催
3. 参加者 野口委員長、出光委員、高田委員、天日委員、藤本委員、松田委員
4. 議事概要

川内原子力発電所2号機第4回安全性向上評価届出における外部評価として、更なる安全性向上に活かすことを目的に届出内容を確認していただいた。各委員からは、説明性を向上させる観点での有益な多数の意見等が出された。

(主な意見等)

- ・設備の高度化、多様化が進んでおり安全性の向上が進んでいると思うが、今後はこれらを効率的に管理・運用できるよう、色々なことの簡素化も検討する必要があるが出てくると思われる。
- ・新型コロナ対策として感染予防・感染拡大対策に注力され、妥当と思われる。今後感染者が著しく増加した場合の事業継続・要員対策として、人員が不足した場合の対応についても明記することが望ましい。
- ・外部連携が原子力の専門機関に限定されているように見える。外部研究機関の最新研究の取り込み等の活動や、リスクコミュニケーションによる外部意見を参考にした取組等も付記すべきだと思われる。
- ・特重施設の活用に関する説明において「現実的な活用」の意味するところを、例をあげて明確にして、そのような新たな機能に基づきさらなる安全性向上の検討を行う、という書き振りの方がよく理解できる。
- ・確率論的リスク評価について改善措置候補が見つかったのは、安全に関する短所ではない。安全性向上に向けた結果であり、新たに対処する措置が見つかったことは安全活動として前進である。

以上